

# 郷土愛を育む「世界遺産学習」

地域の  
特色ある  
活動

## 1 はじめに

藤井寺市は、面積 8.89 km<sup>2</sup>の大阪府下でも面積の小さい市でありながら、人口約 66,000 人で、1 km<sup>2</sup>あたり約 7,500 人が暮らす人口密度の高い街です。小学校 7 校、中学校 3 校を設置し、就業・通学者の約 6 割が大阪市などに通っている典型的な住宅都市で、古くは、難波津と大和飛鳥を結ぶ交通の要衝となっており、現在でも、近鉄南大阪線や、西名阪自動車道が通り、南河内でも高いアクセス性を誇る交通ターミナルとなっています。

(藤井寺市の様子)



その一方、本市は数多くの歴史資産を有する歴史都市でもあります。古市古墳群、菅原道真ゆかりの道明寺や道明寺天満宮、西国三十三箇所観音霊場五番札所「葛井寺」をはじめとする神社仏閣などを有しており、昭和 53 年には三ツ塚古墳から、古代の木製重量運搬具である大小二つの「修羅」が発見されました。また近年では、中国の西安市で藤井寺市出身の可能性が高いとされる遣唐留学生「井真成」の墓誌も発見されました。さらに、平成 22 年 11 月 22 日には、藤井寺市、羽曳

## 大阪府藤井寺市教育委員会

野市、堺市にある「百舌鳥・古市古墳群」がユネスコの世界文化遺産暫定一覧表に記載され、現在、本市では、世界文化遺産登録に向けて、推進本部の設置等、体制整備を進めているところです。

## 2 世界遺産学習の取り組み

藤井寺市では、将来を担っていく子供たちへの教育の重要な柱の一つとして、「郷土愛の醸成」を掲げており、子供たちが郷土にある歴史資産や地域に誇りを持ち、大切にする態度を育むための取り組みとして、世界遺産学習を実施しています。

世界遺産学習を実施するにあたっては、世界遺産登録をめざしている百舌鳥・古市古墳群のすばらしさを子供たちに伝える目的として、市教育委員会で「世界遺産学習ノート」を作成しました。

このノートは全 7 章で構成し、日本の世界遺産や、百舌鳥・古市古墳群のあらまし、古墳時代前後の地域の様子について詳しく解説しています。また、実際に巨大古墳を見学する

際のポイントや豆知識も掲載し、世界遺産についての興味・関心を高める工夫を施しています。

世界遺産学習はこのノートも活用しながら、小学校の 6 年生を対象として、歴史学習とも関連させつつ、総合的な学習の時間の中で全 10 時間程度の計画で進めています。

(世界遺産学習ノート)



学習の特色としては大きく二つあり、一つは学芸員による出張授業、もう一つは市内歴史資産をめぐるフィールドワークです。

出張授業は、各教室へ市教育委員会から学芸員を派遣し、専門的な視点から世界遺産に関する授業を行っています。その際、発掘作



業によって出土した土器や埴輪を教室に持ち込み、子供たちが本物に触れる活動を取り入れています。世界遺産学習のノートにも載っており、博物館ではガラスケース越しに目に

するような土器や埴輪に直に触れることで、子供たちにとっても心に残る活動となります。

フィールドワークは、子供たちが市内に点

在する古墳や遺跡、展示施設をめぐり歩き、それぞれのポイントで観光ボランティアの説明を



(古墳に登って)

聞き、学習を深めます。普段意識してこなかった自分たちの住む地域のすごさ、人々の思いに触れる貴重な機会となっています。

また、上記二つの取り組みのほかに、学校の改築などの際、実際の発掘調査現場で発掘調査体験にも取り組んでいます。



学習の最後に、子供たちは学んだことをまとめた新聞やパンフレットを作成し

ます。それらの作品を持ち寄った「世界遺産学習作品展」を開き、広く市民の方々に発信する取り組みも行っています。

### 3 「黄金の古墳」への取り組み

藤井寺市では、平成21年度より、百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録に向けた機運醸成の一環として、「黄金の古墳」事業



を行っています。「黄金の古墳」事業とは、地域で農地を借用し、所有者

の協力のもと、稲穂を黄金に見立て、田に植えた稲で古墳の形を表現するという事業です。毎年、市教育委員会文化財保護課職員、小学校教諭、幼稚園教諭の指導のもと、市内の小中学生児童及び幼稚園児が田植えや石包丁を使用する方法での稲刈りを体験し、古代の人々の暮らしを実感できる活動となっています。

また、刈りとった稲から精米したお米で、小学生児童及び幼稚園児がおにぎりを作り、お世話になった地域の方々に振る舞う「収穫祭」では、「食」の大切さを感じるとともに、感謝を表現する場として良い機会となっています。

### 4 おわりに

地域の特色ある活動として、藤井寺市で独自に行っている「世界遺産学習」事業、「黄金の古墳」事業への取り組みを紹介しました。どちらの事業も「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産登録の推進をきっかけとし、子供たちが郷土にある歴史資産を大切にすることで、郷土に対する誇りを育む目的で実施しています。

平成29年度に「百舌鳥・古市古墳群」は世界文化遺産国内推薦を得ることができましたが、引き続き早期の世界文化遺産登録を目指し、鋭意取り組みを進めてまいりたいと考えています。世界文化遺産に登録されました暁には、是非、藤井寺市へお越しいただき、本市の数多くの歴史資産に直接触れていただきますようお願いいたします。



教育長  
多田 実